

第3期 石狩農業振興計画の施策の評価（平成24年度実施内容、次年度以降の取組み内容）

【基本方向1 多様な担い手の育成と経営の効率化】

農業後継者等の育成、新規就農者・参入者の受入環境の整備については、市・農協及び農業総合支援センター等が窓口となり、農業経営改善計画作成支援や新規就農相談、新規就農希望者への研修や受入農家などへの助成支援などを実施しました。また、「いしかり塾」の若手農業者を中心に婚活バスツアー、天使大学生との連携による農業体験、加工実習等を通して石狩農業のPR活動や将来の担い手育成に取組みました。女性の農業参画については、女性グループネットワークの活動支援等を行いました。効率的な土地利用の推進については、遊休農地、遊休化の恐れのある農地状況調査を農業委員会が中心となり農地パトロールを実施し、耕作放棄地を解消する等、農地利用集積円滑化事業を活用した農地有効活用が図られました。また、有害鳥獣駆除については、各農協と連携し農業被害の実態把握に努め、石狩市鳥獣被害対策協議会が中心に国等の制度を活用し、電気柵の設置に支援しました。

数値目標の年次到達率の認定農業者数は、農家戸数や農業者の減少に伴い減少傾向となっております。また、新規就農・新規参入者数についてもこの数年は特に少なく、新規就農者は増加したものの、新規参入者数は横ばい状態となっておりますが、市農業の持続的な発展のためには、担い手の育成確保が不可欠であることから、引き続き農業者の育成として「いしかり塾」の若手農業者を対象に婚活バスツアーや天使大学との連携による研修会を開催し、配偶者や後継者が主体的に経営に参画できるよう取り組めます。

【基本方向2 環境に優しい農業の推進】

クリーン農業の推進、地域バイオマス資源の利活用については、食の安全や環境保全の観点から、GAP「農業生産工程管理」講習会の開催、農薬の選定と育成に応じた適期防除指導、GAPシートによる米の確認作業を行いました。また、水稻やミニトマトを中心に「YES! Clean（北のクリーン農作物表示制度）」の推進に努めると共に、石狩・浜益地区において外部オペレーターを活用して稲わら回収を実施、厚田地区では地元養豚会社と農協で完熟豚ふんの斡旋を行い、家畜排せつ物を活用した堆肥づくりに支援しました。

数値目標の年次到達率の「YES! Clean」の取組みは、通常の栽培よりも大きな労力を要することなどが壁となり進んでおりませんが、消費者の食の安全安心への意識がこれまで以上に高まっていることから、引き続き関係機関と連携し、GAP講習会・シートによる米の生産工程の確認作業や「YES! Clean」の取組み、稲わら回収や家畜排せつ物を活用した土づくりに取り組めます。

【基本方向3 販売の戦略化と地産地消の推進】

新たな振興作物の試験栽培は、石狩市農業総合支援センター圃場において、ハマボウフウ等を作付し、栽培を希望する農業者の普及に努めるとともに、厚田地区ではにんにくの栽培を実施するなど、新たな振興作物開発に取り組んで参りました。また、地物市場「とれのさと」の整備や農商工の連携などにより農産物の販路拡大や地産地消の推進に支援しました。

数値目標の年次到達率は、新規作物の開発や加工品の開発数、いしかり地産地消の店認証店数、学校給食の石狩産農産物使用割合、地物市場「とれのさと」の販売額や加工品販売額は、増加しておりますが、今後目標数値達成に向けて、引き続き石狩市農業総合支援センター試験圃場での新たな作物の試験栽培や各種イベント等で石狩産農畜産物のPRを積極的に行い、消費者との交流を深めます。また、「いしかり食と農のカレッジ」の各種講座を開催し、石狩農業の応援団づくりやイコロの会を通じた情報交換による販路拡大に取り組みます。

【基本方向4 【魅力ある農村づくりと消費者との交流】

都市住民との交流を通じて、農業・農村に対する理解を深めるため、グリーンツーリズム推進連絡会議の発足やパンフレット発行、ホームページ等の開設に向けた準備を進め、市民との交流を促進するため、農協などが直売所及び広報誌、ホームページやいしかり食と農のカレッジ登録者に毎月情報を発信し、各種講座や地物市場「とれのさと」加工施設での味噌づくり講座を開催し、生産者と市民との交流が図られました。また、中山間地域事業等を活用し、集落が共同で水路・農道等の維持管理活動や景観などの整備により農地保全が図られました。

数値目標の年次到達率は、加工体験の参加者数は増加したものの、次年度に向けて協議会の設立を進めると共に、引き続き農業・加工体験を通じて市民との交流に取り組みます。

以上、計画初年度において、高齢化や農業者の減少等、様々な農業を取り巻く環境の変化や課題を把握し、目指す将来像の実現のため、4つの「基本方向」など施策について、農業総合支援センターや各農協等と連携しながら取り組んで参りましたが、目標数値に達していない施策については関係機関と連携し、目標達成に向け取り進めて参ります。